

2021年度 日本生活学会事業報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

I. 事業活動

- 第48回総会・研究発表大会
2021年6月12日(土)、13日(日)にオンラインにて開催(本部:慶應義塾大学三田キャンパス)
- 生活学プロジェクトの運営
- 「コロナ特別研究委員会」の運営
- 生活学カフェの運営(オンライン)
① 2021年10月16日(土)、②2021年11月20日(土)、③2022年11月27日(土)

II. 役員会開催

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1. 理事会 | 5回 |
| 2. 『生活学論叢』vol. 39、40 編集委員会 | 8回 |
| 3. 今和次郎賞2021選考委員会 | 2回 |
| 4. 日本生活学会研究論文賞2021選考委員会 | 1回 |
| 5. 日本生活学会博士論文賞2021選考委員会 | メール審議 |

III. 出版物発行・メールニュース配信

- 2021年6月 「第48回研究発表大会梗概集」
- 2021年9月 『生活学論叢』vol. 39
- 2022年3月 『生活学論叢』vol. 40
- 日本生活学会メールニュースの配信

IV. 常置委員会活動

1. 総務委員会 委員長 野村知子

(1) 第48回総会の開催(オンライン)
2020年度事業報告、同収支決算報告、2021年度事業計画案、同事業予算案作成
今和次郎賞(0件)、日本生活学会研究論文賞(1件)、日本生活学会博士論文賞(0件)

(2) 第48回研究発表大会の開催(オンライン)

(3) 理事会運営 6月12日、7月17日、10月16日、1月22日、4月16日

2. 学術委員会 委員長 石川初

(1) 第48回日本生活学会研究発表大会をオンライン開催した。

(2) 研究者の育成、支援の一環として、第6回の日本生活学会博士論文賞の審査を行った。2021年度は該当なしであった。

3. 『生活学論叢』編集委員会 委員長 祐成保志

(1) 『生活学論叢』を年2回発行した。
第39号 2021年9月発行
第40号 2022年3月発行

(2) 2021年度、研究論文賞の審査を行い、受賞者1名を決定した。

4. 事業委員会

委員長 笠井賢紀

- (1) 研究助成事業「生活学プロジェクト」を実施した。6月初旬に募集開始、7月中旬に募集締切、8月初旬に採択プロジェクト決定というスケジュールになった。12件の応募があり、審査の結果11件（助成金あり10件／なし1件）を採択した。1プロジェクトについて、期限までの報告がなく遡って不採択とした。その他のプロジェクトについては、第49回研究発表大会での発表または2022年度の生活学論叢への論文投稿が予定されている。
- (2) 生活学カフェを3回開催した。第1回は2021年10月16日に「コロナ禍の生活様式の変容」と題して開催した。第2回は2021年11月20日に今和次郎賞受賞記念カフェ、第3回は2021年11月27日（土）に博士論文賞・研究論文賞カフェとして、それぞれ受賞者による講演を行った。
- (3) 2021年9月11日に日本民具学会、道具学会、日本生活学会の三学会共催でシンポジウム「民具と道具と生活用具—モノから暮らしをみつめる—」を開催した。

5. 情報委員会

委員長 饗庭伸

- (1) ウェブサイトの運営 適宜会員向けの情報発信を行った。
- (2) メールニュースの運営 適宜会員向けの情報発信を行った。
- (3) フェイスブックの運営 適宜会員向けの情報発信を行った。
- (4) 日本生活学会の100人 3名の記事を作成し、成果をウェブサイトにもとめて内外に情報発信した。

V. 特別委員会活動報告

1. 生活学会コロナ特別研究委員会

代表者 黒石いずみ

- (1) コロナ特別研究委員会の論考集『COVID-19の現状と展望—生活学からの提言』を国際文献社から出版するための編集作業を行った。

2. 日本生活学会50周年記念事業検討委員会

代表者 有末賢

- (1) 日本生活学会は、2022年9月29日に設立50年の節目を迎える。2022年以降の記念事業実施を前提に、その具体的な内容を企画検討する特別委員会を設置した。

3. 生活学ヘリテージ（小川信子先生フィルムライブラリー）

代表者 真島俊一

以上